

快挙!

入江選手金メダル獲得

今夏の東京五輪には鳥取県ゆかりの選手が6名出場しました。中でも最大の話題は入江聖奈選手(米子西高出身/日体大3年)のボクシング女子フェザー級での金(本人曰く砂丘色)メダル獲得。日本女子ボクシング界初のメダル、そして鳥取県出身者として初の「金」という快挙でした。



金と砂のメダルを掲げる入江選手と平井知事 提供/鳥取県

入江選手は米子市義方小2年の時に読んだ漫画「がんばれ元氣」に影響を受け市内のシユガーナツクルジムに入門。技術を磨き努力を重ねて日本代表にまで成長したのです。テレビのインタビューでの飾らず素直な受け答えやカエ

平井知事は県民栄誉賞に加えて「スポーツ最高栄誉賞」を創設し、この栄誉を称えることを発表。鳥取での授与式では砂で作った「砂丘色」メダルも贈呈されました。伊木米子市長がSNSで発した「全米(全米米子)が泣いた」のこ

平井知事は県民栄誉賞に加えて「スポーツ最高栄誉賞」を創設し、この栄誉を称えることを発表。鳥取での授与式では砂で作った「砂丘色」メダルも贈呈されました。伊木米子市長がSNSで発した「全米(全米米子)が泣いた」のこ

地方創生はなし《その15》

「星空エール」で地域を応援

幹事 山田 雅行

倉吉市中心市街地で地方創生に尽力している福井恒美さん(63歳)の活動を紹介します。福井さんは2010年に移住者支援を開始。2013年活動団体リアルマックを結成し、移住者交流会(延べ参加人数5000人)を県内外で開催しました。また空洞化する地域で軽トラ市、リヤカー市などを開き、新しいコミュニティを創出。2019年総務省の「ふるさとづくり大賞」を受賞しました。

その後、空き家・空き店舗の活用として倉吉市街でお

試し住宅大鳥屋、コミュニティスペースなどを展開してきました。2020年、白壁土蔵群の医院跡をリノベーションして、倉吉初のクラフトビール醸造所&レストラン「BREW LAB KURAYOSHI」を開設。地域に新たな経済と雇用を創出しています。

この新しい醸造所は、地元のお酒・元帥酒造とコラボして、大吟醸酒粕を使ったクラフトビール「酒粕ブリュール」を開発し、好評を得ました。直近では県のブランド米「星空」を原料にした「星空

「星空」を原料にした「星空



▲平井知事(右)に発売の報告。左が福井さん、中央は醸造担当の山田さん

エール」を7月7日に発売しました。「星空」の名には、品であり、「エール」の名には、コロナ禍に苦しむ人々への応援の意味も込められています。価格はボトル1本(330ml)770円(税込み)。取り寄せ可。問い合わせ0858-27-1432

＜このほかの鳥取県ゆかりの選手の成績＞

Table with 3 columns: 選手名, 出身等, 成績. Includes athletes like 武良竜也, 富田千愛, 三上紗也可, etc.

メントも話題に。米子市からは市民栄光賞が贈られました。この快挙を称え、東京鳥取県人会からも入江選手に記念品を贈呈します。(文/東京鳥取県人会事務局)

百歳はつらつ 最年長会員 浜江晋さん

大正10年生まれの浜江さんが2月に百寿を迎えられたと聞き、写真取材のために最寄り駅の近くでお会いした。



浜江さんは待ち合わせたカフェのテラス席に、杖なし、付き添いなしでスタスタと歩いてこられた。とても百歳とは思えない。矍鑠としていらつしやる。キャップがお似合いだ。今はコロナでままならないが、グランドゴルフは現役というからビックリした。

趣味は「作文」である。毎日川柳をひねる。主治医が音楽愛好家で、浜江さんが最近書いた歌詞に感動。知人のサクソ奏者に作曲を依頼し、プロ歌手の歌でYouTubeにアップした。これがいま地元日野市で「百歳の作詞家」と評判なのである。題して「百才音頭」。写真中のQRコードから聴ける。♪産声上げて百年/嬉しいのか寂しいのか/心の中は変てこりん/でんでん太鼓が鳴っている♪ 三番まである。9年前奥さんに先立たれ、今は72歳の長女と二人暮らし。掃除、洗濯、ごみ出し、買い物などなんでもやる。この行動力こそが健康の秘訣というのである。旧青谷町出身。(写真・文/遠藤隆司)

随想リレー

とつとりの天気

幹事 坂出 宜隆

私、学生時代から鳥取県を離れていゆる太平洋側で生活しているのだが、昔から地元三朝あつて、うつろしい気分になりに帰省する際に、若干の憂鬱さを感じた。これは、我が家にもちよくちよく起きていた(どの家でもよくある)ややこしい話のせいだと思っていたが、十数年前に「その他の原因」に姉と

鳥取県内でもデルタ株が猛威

6月に約3週間もの長期にわたり感染者0人を継続していた鳥取県でも、第5波といわれる全国的なデルタ株のまん延もあって、6月末に481人であった感染者数が8月末には1445人と、猛スピードで増加しました。7月から8月にかけて県内全域で感染経路不明な陽性者が相次ぎ、ライブハウスや接待を伴う飲食店等ではクラスターが複数発生しました。このため鳥取市と米子市では、一部地域の飲食店への2週間の営業時間短縮要請に踏み切りざるを得ませんでした。鳥取県は、コロナ対応のため

このような取組は、県民、事業者、関係機関の皆様との強い絆があつてこそ実現できているものと考えています。(鳥取県東京本部)

訃報

東京鳥取県人会第14代会長(平成11年9月~15年10月)天野 勇様には、令和2年に逝去されました。享年百歳。遅くなりましたが、ここに謹んでお悔やみを申し上げます。

編集後記

▼早朝散歩をしていて、近在の古刹の掲示板に「響語 NO先祖 NO LIFE」とあつて、はて?と考へた。お寺さんが先祖をノーとは言わないはずだ。そうか、先祖のない生活はありえない、と読ませているのか。今日語を響語と当て字にしているのも、ここの坊さん、中々やるじゃないかと。▼終わりなき「NOコロナ NO LIFE」何とかならぬのか。(遠藤隆司)